

福祉機器・自助具とは

日常生活を自分で行うあるいは介助者が援助する際に、どうしても障害のためにできない部分を補う工夫品、便利用品のことです。福祉機器・自助具にはその目的によっていくつかの種類があります。

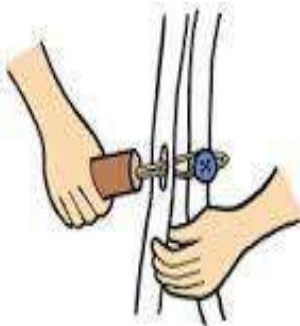
①筋力の低下 ②関節の可動域制限 ③にぎる、つまむ、指先動作ができない ④両手動作が困難な時に片手で行う。などがあります。

スプーンホルダー



細いものを握る動作が困難な方のための自助具

ボタンエイド



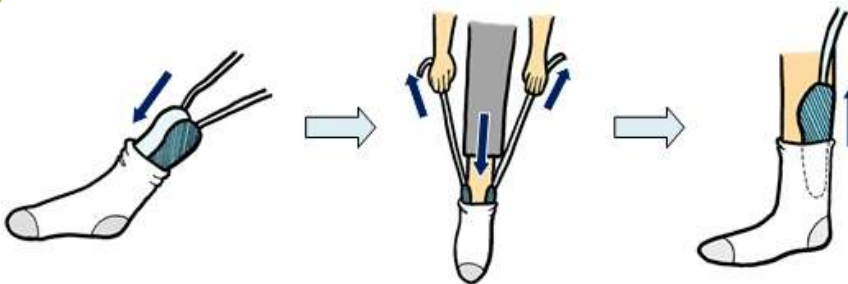
手指に障害のある方がボタンをかけるための自助具

瓶オープナー



片手でもフタの開閉ができる自助具

ソックスエイド



筋力低下、可動域制限により靴下をはくことが困難な方のための自助具

爪切り



指の力が弱く爪を切ることができない方のための自助具

留意点

自助具の使用には疾患や生活に応じた適応があります。また障害の初期から自助具を使用した生活を送ると、運動の機会を奪ってしまう可能性もあります。

上記のものだけではなく他にも様々な自助具があります。最も多くの自助具を見ることができる機会として、国際福祉機器展という展示会があります。

～国際福祉機器展～

東京国際展示場「[東京ビッグサイト](#)」東展示ホール
 ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した福祉
 車両まで世界の福祉機器を一堂に集めた国際展示会。
 次回開催予定：2015年10月7日～9日

♪ お問い合わせ先 リハビリテーション室 まで ♪
 ♪ 多摩南ミニ通信を入手されたい方は地域医療連携室 まで ♪

今月の医療 **新しいレーザー治療** 眼科

新しいレーザー治療 ～パターンスキャンレーザーについて～

網膜レーザー治療の流れ

レーザー装置を用い病的な網膜を凝固させることにより病気の進行を抑える網膜光凝固は、糖尿病網膜症や網膜裂孔などの網膜疾患に欠かせない重要な治療手段です。1970年代から広く臨床で使用されていますが、従来のレーザー治療は一発ずつ照射するため多くの時間を要し、時には強い疼痛が伴うこともあり患者さんにとっても治療者にとっても悩ましい治療でした。近年、レーザー光学の著しい進歩により安全にそして短時間で網膜治療を達成できるパターンスキャンレーザー（PASCAL）が普及し、当院にも導入予定となりましたのでご紹介します。



パターンスキャンレーザー(PASCAL)の特長

優れた組織選択性（図1）

比較的高い出力による短時間照射であるため、網膜の治療部位を的確に選択して照射でき、周囲の網膜への障害を最小限に抑えることが可能です。

短時間照射と少ない痛み

レーザー照射時間が 10～20msec と短いため（従来のレーザーは 100msec 以上）、照射時の疼痛が少ないことが大きな利点です。

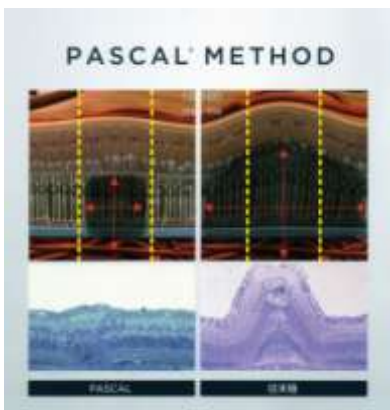


図1 左が PASCAL
従来のレーザー（右）に比べ周囲組織の浮腫が少ない。

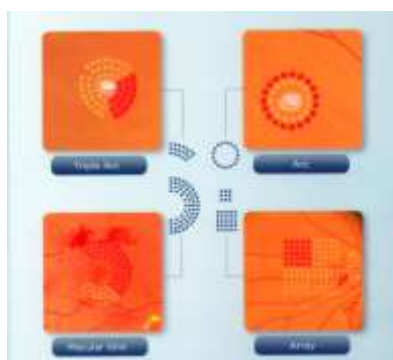


図2 照射パターンを選択可能
病巣に合わせて照射のパターンを選択する

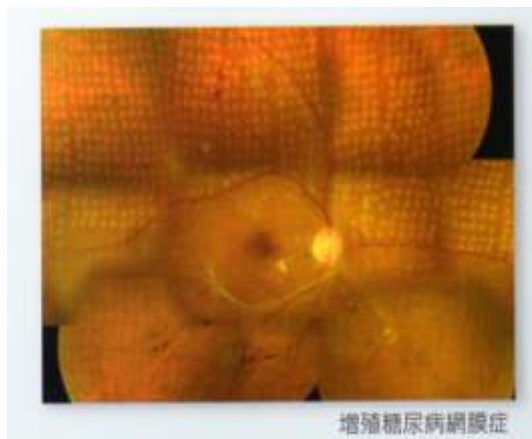


図3 実際の網膜光凝固
一度に網膜の半分の照射も可能

また、一度に様々なパターンで複数個照射ができるため（図2）短時間に広範囲の凝固が可能となり、通院回数を減らすことができるケースもあります（図3）。

治療が困難な黄斑部浮腫に対して、更に低出力の**閾値^{*}（いきち）下レーザー**を施行し黄斑の障害を回避しつつ、浮腫を軽減させる治療も可能になっています。^{*}閾値下…反応を起こすのに最小必要限の刺激の強さ

眼科部長 百野 伊恵

☆当院は紹介制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。